

## 高齢化社会における新たな雇用・就業システムの在り方

### [研究メンバー]

主査	高梨 昌	信州大学教授
	高田一夫	千葉商科大学助教授
	白木三秀	聖泉短期大学講師
	森田利つ子	東京都立労働研究所研究員
	今井英彦	流通経済大学専任講師
	諏訪康雄	法政大学教授
	佐藤博樹	法政大学助教授
	下田平裕身	信州大学教授

### [内容要旨]

本調査研究は、労働省から委託を受けて行ったものである。労働力人口の高齢化が急激に進展しつつあり、21世紀には未だどの国でも経験したことがない高齢社会が到来することが予測されている。それゆえ、高齢社会に対応した社会システムを早急に整備する必要がある。しかし、その際には、個人、家庭、企業、労働および社会保障・福祉関連の公共政策など各分野におけるシステムのあり方を検討するとともに、それぞれの相互関連性を考慮し、整合性のある全体システムを構築するようにしなければならない。

こうした視点に立って、1987年にコンファレンスが開催され、全体的な社会システムのあり方を検討しており、この調査研究は、コンファレンスの討議内容を受けて、更に個別分野でのシステムのあり方を詳細に検討するために、企業における中高年齢者の活用実態を調査した。

今後、早急に中高年齢者を活用していくシステムを整備しなければならないが、これらの対応を、産業構造の転換が急激に進展していくなかで行わなければならないが、環境は非常に厳しいものがある。しかも、公的年金の支給開始年齢が65歳に引き上げられることが予定されており、60歳定年制に続いて新たに60歳台前半層の雇用のあり方が問題となってきている。

こうした状況を踏まえて、経営の多角化などによる事業転換過程において、中高年齢者がいかに活用されているのかという実態を解明し、それに基づいて60歳台前半層の雇用のあり方を検討するために、企業へのヒアリング調査を行った。また、他方でこうした企業における60歳台前半層の雇用のあり方を規定する今後の労働力需給バランスの検討も併せて行った。

### 分析結果の概要

#### 1 労働力需給バランスの中期展望

労働力率の見通しをもとにした労働力人口を推計すると、1995年には55歳以上の高齢層は

302万人の増加が見込まれ、労働力人口に占める割合も3ポイント増え、高齢化が一段と進展する。

一方、労働力の需要は、就業者総数は増加するが、技術革新・情報化、サービス経済化等の進展により、専門・技術職や事務職の需要の大幅増加と技能・生産職等の需要が予測される。労働力需給バランスは、経済成長率4%弱で1995年の労働力需給ギャップは191万人、失業率2.9%、経済成長率3%弱では212万人、失業率3.3%程度と見込まれる。

こうした需給ギャップは技術革新等の急速な進展と、その変化に適応しにくい高齢者の大幅な増加を考慮すると、予想以上の拡大が見込まれる。

## 2 事業転換過程における中高年齢者の活用実態

わが国の事業転換・多角化は、切捨てや売却といった激烈な方法を取らず、培ってきた技術力や人材を最大限生かせる関連部門に新規参入するやり方が支配的である。もっとも、最近では全く関連のない分野に参入するものが増えてきている。

## 3 企業グループ内での人材の有効活用

企業グループ内における人材の再配置が急速に進展しつつある。従来は、高齢者を中心とした余剰人員対策として実施される場合が多かったが、最近では事業転換などの進展に伴って、新規事業の開拓・推進や関連会社の経営・技術指導、さらに中堅社員の教育といったポジティブなものに変化し、出向規模の拡大に併せ複合化してきている。

いずれの企業においても中高年齢者の活用に非常に苦労しており、大幅な職種転換を必要としない、それまでの経験を生かせる仕事に移動させるというのが主であるが、本格的なリストラクチャリングを迫られている企業においては、余剰人員の発生規模が大きいため、関連企業への移動では対応しきれない人員が発生し、こうした場合は大幅な職種転換を迫られ移動が行われているが、その際には様々な教育訓練が実施されている。

## 4 新たな雇用システムの整備

60歳定年制が一般化してきているとはいえ60歳以上の雇用機会を保障している企業は極めて少ないのが現状で、積極的とはいえない。

60歳台前半までの雇用延長については、大半の企業が殆ど手を付けておらず、しかも企業年金の導入進展に伴って、高齢者の引退指向も強まっている。しかし、年金支給開始年齢が、65歳へ引き上げが決定されている現在、高齢者雇用システムは、高齢期における生活を安定させる点や、社会保障費の給付と負担をバランスさせる点からも、いずれ修正せざるをえず、何らかの形で60歳台前半までの雇用システムを整備する必要がある。